

# アンコール遺跡へのお誘い



アンコールワットで有名なアンコール遺跡群は、カンボジアのシエムリアップ州にあります。カンボジアはタイとベトナムの間に位置しており、国土面積は日本の約半分、人口は東京都の人口と同じくらいといわれています。

シエムリアップはもともと、とてもどかな田舎町だったのですが、世界遺産であるアンコールワットがあるばかりに、立派なホテルが建設され、道路も舗装され、車の数も増えて、年々町並みが変わりつつあります。そのせいか、空気も少し悪くなったような気がします。

カンボジアの首都はプノンペンですが、シエムリアップ空港には、タイやベトナムからの飛行機が乗り入れているために、ほとんどの観光客はプノンペンまで足を伸ばすことなく、シエムリアップの遺跡だけを見てカンボジアを後にするようです。

アンコール遺跡というと、アンコールワットひとつだけだと思っていられる方が多いようですが、シエムリアップの主な遺跡だけでも50近くあります。そのすべてを見ようと思ったら大変ですが、できるだけゆっくり時間を取って多くの遺跡を見ていただきたいと思います。建造された時代、王様によって、建築様式が違うので、じっくり見比べていると時間が足りないくらいです。そんな中でも絶対に見逃せないのが、アンコールワット。エジプトのピラミッドと同じ量の石を使って作られたといわれ、内部には美しい絵巻物のような彫刻があります。その他、東洋のモナリザといわれる美しい女神像の彫刻がある、バンテアイスレイ寺院。遺跡を食べつくす生き物のように成長しているガジュマルの木があることで有名な、タブローム寺院。4面の観世音菩薩の塔が並ぶバイヨン寺院のある、アンコールトム。

私は現在、こちらの旅行会社で働いています。以前はツアーガイドとして毎日のように遺跡に行っていました。毎日飽きることなく、今日もきれいだと、日々違う姿を見せてくれる遺跡に感動しながらガイドをしていました。現在はガイド業務を離れているためあまり遺跡に行く機会がなく、残念ですが、仕事が休みになると遺跡に出かけて行き、のんびり休日を過ごします。また、週末の夕方になるとアンコールワットのお堀の周りには地元のカンボジアの人たちが夕涼みにやってきます。日が沈むまでござのうえに食べ物を広げ、食べたり飲んだりして過ごすのですが、そういった人たちの姿を見るとカンボジアも平和な国になったのだなあと思います。

また、休日には、やしの葉っぱでできた屋根の下にハン

モックがたくさんぶら下がっているレストラン（私は勝手にハンモックカフェと呼んでいます）でビールを飲みながらぶらぶらと揺れながら昼寝をします。日本とはまったく違った時間が流れているような気がします。そんなカンボジアの人たちの中で、私ものんびりと生活しています。

皆さんも、ゆっくりとしたときを過ごしにいらっしやいませんか？

ベストシーズンは乾季の11月から2月です。ただ、雨季も1時間～2時間降ったら、からっと晴れ上がるスコールを避ければ観光しやすいと思います。アンコールワットや、遺跡周辺の木々や、芝生が青々としているのは雨季ですし、砂埃もなく空気も澄んでいるので、私は雨季も好きです。ラッキーだと、雨上がりにはアンコールワットにかかる虹も見ることができます。3月、4月はこちらが一番暑い季節です。焼けた遺跡の石の上を歩く観光は大変です。

アンコールワットの地、シエムリアップで皆様のお越しをお待ちしています。



筆者:松崎みどり

2002年に初めてカンボジアを訪れる  
トローと呼ばれる二胡に似たカンボジアの伝統楽器を3ヶ月間学び、帰国

2003年8月よりアンコール遺跡の日本語ガイドとして勤務

2004年9月 FSUN TOURISTに入社

休みの日には観光客が訪れない小さな遺跡を巡りを楽しんでいる。

FSUN TOURIST  
MONDOL3 SLAKRAN SIEM REAP, COMBODIA  
Tel/Fax +855-63-964-306 E-mail:matsuzaki.n@online.com